

平成27年度 自己評価結果一覧

重点目標	評価分野	努力点	評価項目	評価	改善点等
「つもり」学習をやめさせ、「気づかせる」学習を図る	学習指導部	「気づき」を重視した学業指導による、「学ぶ意識」の高揚	生徒の授業に臨む意識(姿勢)はどうか	C	教員どうしの学びあいの機会を増やす。
	学習指導部	生徒理解に立った教科指導による、基礎学力の確実な習得	生徒理解に立った教科指導を実践できたか	A	よりよい実施回数や時期、授業公開の方法などを改善していく。
	特活指導部	生徒が自主的に行動し、生徒会行事の充実	生徒会行事に積極的に参加できたか	B	女子生徒も満足できる行事を検討する。
	進路指導部	自己理解をもとにした将来の目標設定	3学年における進路の選択状況	A	生徒の進路決定のため、多くの情報を発信していく。
	健康安全指導部	疾病の予防及び健康意識の向上	健康情報の提供状況	A	次年度以降も情報提供を継続していく。
	機械科	合格率の低い資格試験の指導	情報技術検定の合格率	D	放課後等における補習を充実させる。
	生産機械科	定期試験の平均点向上	クラス平均点	B	意識の向上を目指す。
	建設科	専門的な技術・技能の習得と資格取得の推進	2級施工管理技術検定等の合格率	B	指導体制を再度見直す。
	1学年	基礎学力を身につけ、自ら学ぶ姿勢を育む	基礎テストの結果	A	漢字の練習時間を増やす。
	2学年	基礎学力を身につけ、自ら学ぶ姿勢を育む	基礎テストの結果	B	取り組む意識と目的を明確にして臨ませる。
3学年	基礎学力を身につけ、自ら学ぶ姿勢を育む	基礎テストの結果	B	基礎テストの重要性を指導する必要がある。	
創造型実践技術者の育成	学習指導部	学習環境の確立	職員へのアンケート調査	C	クラス、教科ごとに授業態度の差が大きい。
	特活指導部	部活動の活性化	部活動加入率	C	よりよい学校づくりの一つとして部活加入促進を目指す。
	進路指導部	進路希望の実現	就職採用試験、上級学校入試の結果	A	次年度以降も継続できるようにしていく。
	健康安全指導部	安全管理の重視	施設設備の安全点検の実施状況	A	来年度も継続していく。
	工業管理部	より高い技術力・技能を身につけようとする意欲を育む	工業系各種競技大会の成績結果	A	今後とも各種大会に積極的に参加し、専門性の向上を図っていく。
	機械科	課題研究に取り組む生徒の意識向上	自ら意欲的に取り組むことができたか	A	今後も継続して取り組ませる。
	生産機械科	自ら考え技能向上に取り組む人材の育成	生徒研究発表大会等への参加	A	今後も継続して取り組ませる。
	電子科	専門的知識・技術の習得	ものづくりコンテスト「電気工部門」	B	次年度以降も入賞できるようにする。
	建設科	ものづくりによる地域連携・地域貢献	真心工房(ボランティア活動)活動状況	A	今後も継続して実施する。
	建設科	3S(整理・整頓・清掃)による学習環境の整備	実習室等の3S活動の状況	B	今後も継続して実施する。
	1学年	基本的な生活習慣の確立	出席率・遅刻率	A	さらに高い目標を設定する。
	2学年	基本的な生活習慣の確立	出席率・遅刻率	B	保護者と連携を取りながら遅刻・欠席を防止する。
	3学年	基本的な生活習慣の確立	出席率・遅刻率	B	進路決定後の指導強化が必要である。

重点目標	評価分野	努力点	評価項目	評価	改善点等
自らの専門性を向上を図る	教務部	教員研修の推進	校内研修の充実	A	今後も現職教育の機会を設け、能力向上に努める
	工業管理部	地域に必要とされる学校としての特色化を図る	学校の特色化に取り組む	A	今後とも、地域の開かれた学校としての活動を継続していく。
	生産機械科	資格取得の合格率の向上	QC4級・危険物乙4種・情報技術検定3級	B	補習計画の見直しが必要である。
	電子科	実習教材の整備	実習指導用テキストの充実	D	継続的に次年度も行い完成させたい。
職場環境づくり	教務部	保護者・地域への広報活動の推進	ホームページの積極的な活用	A	情報発信のタイミングを検討し効果的な時期を図る。
	生徒指導部	規則正しい生活習慣の徹底	生徒理解に立った生徒指導を実践できたか	A	科・学年との連携を図りながら指導していく。
	渉外部	開かれた学校づくり	HPや一斉メールを活用した広報活動	B	各種講演会などの出席依頼なども発信していく。
	2学年	担任・教科担任の連携・協力	各担任・各教科担任間での連携	A	連携強化を目指す。
重複目標	生徒指導部	交通安全意識の向上	自転車及び原付二輪車における意識向上	A	自転車競技部の自転車事故減少への工夫。
	生徒指導部	ボランティア精神の徹底(真岡線駅舎清掃活動への積極的参加)	参加生徒の取り組み状況	無	ボランティア精神向上に繋げていく。
	健康安全指導部	環境の美化	清掃状況の確認	A	今後も継続的に実施していく。
	渉外部	会員及び地域社会との連携	PTA総会の出席率の向上	B	参加率を下降させない工夫が必要。
	電子科	「気づかせる」学習の浸透を推進し、専門的技術の習得を図る	第2種電気工事士、工事担任者DD3種	A	今後も継続的に実施していく。